

## 第56回情報交流会・技術士試験合格者祝賀会 実施報告書 (HP)

開催日時	2023年6月3日(土) 14:00~17:30
開催場所	シルクセンター地下会議室・WEBの併用開催
参加人数	参加者42名(正会員38 準会員1 未入会3) (内R4一次合格2、二次合格16)

### 《開催概要》

#### ■開会挨拶(松田支部長)

- ・コロナ禍等厳しい社会情勢において技術士試験に合格された皆様に敬意を表します。
- ・「縁は異なるもの味なもの、人知を超えた不思議なもの」という諺がありますが、まさに技術士会活動はこれに当てはまるものではないでしょうか。後ほど、各委員会から活動状況等の紹介がありますが、新合格者の皆様におかれましては興味のある委員会に参画いただいて支部活動を支援いただきたいと思いますと考えております。

#### ■支部活動の紹介(小原総務委員長)

総務委員会、研修委員会、技術士活性化委員会ならびに社会委員会から活動内容の紹介がありました。

#### ■会員によるCPD講演(司会:小原)

##### 講演1:技術士としての歩み 東芝エネルギーシステムズ株式会社 前田優美子(経営工学 総合技術監理)



講師は大学卒業後、株式会社東芝に入社され、エネルギー事業本部において新エネルギー関連機器のセールスエンジニアとして業務を進めてこられました。

技術士のほかにも建築士や生け花の草月流師範など多方面の資格や免許も持ち合わせていられます。

2017年に分社化された現会社では、人々の生活に欠かせないエネルギーについて、限りある資源の有効活用を図りながら効率的にエネルギーを生み出すために、経済発展と環境調和を実現する技術革新を推進していくという基本理念を掲げて業務を遂行しているそうです。

所属はパワーシステム事業部で、国内水力発電施設の改修等に関わる全般業務を担当されています。業務にあたっては、2021年に国が定めた「第6次エネルギー基本計画」に沿いながら再生可能エネルギー分野における水力発電の役割を果たすべく努めているとのことでした。

自身が担当されていたS水力発電所改修の工事概要や水力発電の仕組みとその構造や主要機器の説明も画像等によって分かり易く説明されていました。また、所属部署での業務の進め方や現状の課題(人材確保と技術伝承)についても具体的に説明がありました。

最後に社内技術士会や神奈川県支部での活動(総務、科学技術振興支援)の説明があつて講演が終了しました。

##### 講演2:大学での技術者倫理教育 POLESTAR北本技術士事務所 北本達治(化学、総合技術監理)



講師は大学卒業後、富士フイルム株式会社に入社され、ビデオテープ、光ディスクやデジタルカメラなどの研究開発に携われてきました。退社後、技術士事務所を開設されながら、食品関係の著作、技術士会での技術者倫理の研鑽、日本技術士会理事や化学部会長を歴任され、現在はJABEE認定コースのある静岡県立大学で「技術者倫理」の講義を行われています。本日は新合格者歓迎会でもあるので、技術士業務の一つの例として、大学での技術者倫理の講師という仕事の紹介をしたいとのことでした。

「技術者倫理」がなぜ必要なのかについて、技術の高度化により、そのモノがどのように作られたのかが、公衆からみえない;ブラックボックス化してきている。過去に発生した雪印乳業の食中毒事件を参考事例として、この生産工程を担当する技術者が「公衆の福利最優先」という責任感を持つことによってしかこのような事故を防ぐことができない。また、技術者がこのような「技術者倫理」を持つことが、社会からの技術者への信用に繋がるとのことでした。

倫理は「自律的な規範」であり、法律は「他律的な規範」。実務のなかで「二律背反」や「線引き問題」で難しい判断を強いられることがあるが、その際に「公衆の福利最優先」が拠り所になるとのことでした。

また、技術士とJABEE制度の関係にもふれられ、技術士資格の認知度の更なる向上の必要性を訴えられました。

#### ■技術士試験合格者祝賀会(司会:磯村)

◇会場参・WEB参加のR4年度試験合格者(17名)から、自己紹介や今後の抱負などについて一言いただきました。

◇新合格者(自己紹介17+早退1)部門別数(会場+WEB)

(機械3, 電気電子2, 化学1, 金属1, 建設3, 上下水道1, 衛生工学1, 経営工学3, 情報工学3)

■閉会挨拶 閉会の挨拶があり会の終了が告げられました。(17時30分)